

# うつくしま、まちづくり推進レポート



Vol.22 平成18年7月31日発行

日本史上で有名な織田信長、豊臣秀吉、徳川家康。この3人の共通点はなんでしょう？  
実は、愛知県出身なんです！あの有名な名古屋城は家康がたてたんですよ。名古屋城といえば金のシャチホコ。2匹合わせて88kgもの金が使われているそうです。しかも！北側が雄、南側が雌なんだとか。みなさん知っていました？

愛知県は昨年、「愛・地球博」の開催で大変な盛り上がりを見せました。また、中部国際空港が開港し、人・モノ・情報の活発な交流が始まっています。

今回は、中部国際空港が開港した常滑市での取組みについてご紹介します。

## いい帯(ト)、みいつけた！



若カエル、無事カエル、生きカエル(^-^)

常滑焼で名を成す愛知県常滑市。古くは平安時代末期から、生産が始まりました。当時は比叡山等の寺院で使われた大きな壺を、明治以降には甕、土管、茶碗、急須、植木鉢等の生産が始まりました。そして現在は、タイルや衛生陶器が主力となっています。



土管坂



『やきもの散歩道』の入り口

やきもの散歩道沿いに作品を展示



“まちの駅”も兼ねているだんご茶屋



舗装に土管が埋め込まれています！



趣のある、黒い壁の建物。常滑市内の至る所で見られます。



## 『やきもの散歩道』

「やきものまち」を肌で感じるには歩いてみるのが一番！！ということで、散歩道コースが設けられています。Aコース(1.5km、60分)、Bコース(4.0km、2時間30分)の2コースがあり、常滑の古くからの街並みと、常滑焼に触れることのできる観光スポットとして注目を集めています。

みなさんも、自分の肌で「やきものまち」を感じてみませんか？

それでは、今号の問題です！

常滑は、戸、楽、前、丹、前と並び、日本六古窯のひとつとされ、中でも最も古く最大の規模とされています。

さあ、の中に漢字一文字を入れて完成させてみてください！答えは次号で発表します。

前号の問題と答え

問題：日本三大流し踊りは、黒石よされ、阿波踊りとあとひとつは何でしょう？

答え：岐阜県の郡上八幡踊りです！

## 耳ヨリ情報！

今年の郡上八幡踊りは、7月15日から開催しています。8月13日から16日には徹夜踊りがあるそうですよ！  
なお、お出掛けの際はホームページ等で日程をご確認下さい。(検索サイトで、[郡上踊り日程表](#)と入力し検索)

## ～つるの湯丸に揺られて～

まちづくり推進グループで取り組んでいる事業の中に「元氣ふくしま、地域づくり・交流促進事業」があります。

この事業は、地域のみなさんが主役となり地域の歴史や文化などの地域資源を活用し、持続的成長が可能な個性と魅力ある美しい地域づくりや、交流人口の拡大に結びつく施策を各主体の役割分担のもと、ソフト・ハードの両面から推進することにより、地域に愛着と誇りを持ち、未来に希望が持てる地域社会の実現を目指して、平成16年度に創設したものです。

今回ご紹介するのは、“つるの湯丸”の就航で注目を集めている大沼郡三島町早戸地区での取り組みです。

### “みんなの目標”

奥会津の文化を生み出した風光明媚な只見柳津県立自然公園の自然景観とオープンから2年で入湯客10万人を達成した早戸温泉など地域資源の活用を図っていきます。

地域が主体となって、早戸温泉等発着の只見川周遊観光船の就航による「川の駅」を中心とした交流人口の拡大を図っていきます。

### “懇談会を開催しました”

懇談会の構成メンバーは、早戸温泉つるの湯企業組合関係者と早戸地区の住民計12名です。

平成16年度（4回開催） 早戸温泉を核とした地域づくりについて、船着場護岸の整備やつるの湯HPの立ち上げ、飲用温泉水の売り出しなどのソフト対策を中心に話し合いをしました。

平成17年度（4回開催） 只見川山峡21景の命名、船の運航・PRの方法、今後のソフト的取り組みの短・中・長期的展望について話し合いをしました。

### “地域の取組み”

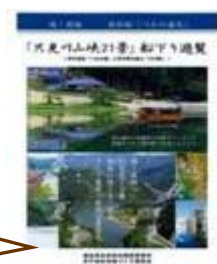
#### これからの取組み

- ・只見川周遊観光船就航
- ・温泉情報誌に広告
- ・高速道・鉄道周遊チケット販売
- ・只見川流域市町村との連携によるツアー
- ・地区の人々と湯治客と長期交流
- ・水鳥・野鳥とのふれあい
- ・つり情報の提供
- ・山菜採り体験
- ・いなか料理教室の開催

#### これまでの取組み

- ・つるの湯ホームページ立ち上げ  
（検索サイトで、**つるの湯**と入力し検索するとご覧になれます）・屋形船の購入
- ・飲用温泉水の売り出し
- ・パンフレット作成
- ・四季の写真の展示
- ・イベント開催

こちらが力作のパンフレットです！  
只見川山峡21景を紹介しています（\*^\_^\*）



早戸駅の船着場



早戸温泉側の船着場



懇談会の様子

ついつい、話しに熱が入ってしまいます（\*^\_^\*）



## “ 県の取組み ”

親水護岸の整備と船着場としての利用

《全体事業内容》

護岸工（早戸駅側、温泉側）

遊歩道（温泉側）

事業年次 H16～H18

H16事業概要

事業内容 親水護岸工（早戸駅側）

H17事業概要

事業内容 乗船護岸工（早戸駅側、  
温泉側）遊歩道工（温泉側）



只見川の折々の変化で、ゆっくりと時を感じてみませんか！



つるの湯丸に乗りたい！という方へ(^0^)/

つるの湯丸は、10人以上の乗船客がいるときに、不定期で運航（7月22日より運航開始）しています。

早戸温泉を発着点に三島町宮下方面と同町水沼方面に往復約10kmのコースです。

つるの湯入湯と乗船を組み合わせたプランもあります。詳しくは、早戸温泉へお問い合わせのうえ、お出かけ下さい！

## トピックス

～まだまだ募集しています！～

すばらしいまち写真コンテストの作品を 8 月 31 日(木)まで募集しています！

詳しくは、うつくしま、まちづくり情報発信局 <http://www.pref.fukushima.jp/machi/> をご覧下さい。

～次号予告～

「地域資源を活かしたまちづくり」をテーマとして、シリーズ(全 3 回)でお伝えします。

第 1 回目は、「清水を活かしたまちづくり」と題して、秋田県六郷町での取り組みについて紹介します。お楽しみに！！

## 20年目のありがとう。

ここでちょっと、“やきもの(陶器)”にちなんだ豆知識！！

ご存知ですか？結婚 20 周年が『陶婚式』ってこと。

まだまだフレッシュそのもののカップルや、すっかりお父さん、お母さんになったご夫婦、結婚 20 年目ともなると、どんなカップル、どんな家庭であれ、二人で育んできたライフスタイルがすっかり定着している頃なのでは？

節目となる 20 周年目、これまでのお二人の足跡を祝って『陶婚式』を祝いましょう。

もちろんスタイルは自由、これといった決まりはありません。

かわいい子供たちと一緒に、ちょっと改まって記念の食事。にぎやかなひととき、普段よりぜいたくな器づかいのテーブルを囲んだり、花やグリーンをお気に入りの花器に飾ったり...

主人公であるお二人のセンスをいかして、『陶婚式』ならではのプランを計画してみませんか。(ウェブサイト「にっぽんのやきもの」より)

福島県内の“やきもの”といえば、大堀相馬焼と会津本郷焼ですよね！これを機会に、各地の窯元を訪れてみてはいかがでしょうか？

## 編集者ひとりごと

例年がない長雨による被災状況が、連日報道されています。福島県でも土砂災害による道路の通行止めや、日照不足による農作物への影響など心配ですよね。

そんな中、東北地方を残して、梅雨明けが発表されました。東北地方の梅雨明けも間近！いよいよ、夏本番です(^-^)

## 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート」(Vol.22)は、いかがでしたでしょうか。これからも皆様と一緒に、より充実したものにしていきたいと思っておりますので、取り上げてほしい事例やご意見、ご感想、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、1.団体会社名、2.氏名、3.メールアドレス、4.電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、よろしければ、5.性別、6.年齢を記入の上、**まちづくり推進グループのメールアドレス**まで希望する旨ご連絡下さい。

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

### 【発行元】

福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ

〒960-8670(住所記載不要)

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

